

以下脚注したC
ル・ニーデルメ
1699) が劇作を
のことです。
語のテキスト
のラテン語の
されたもの、と
か19歳の時に
ム^[2]への傾倒の
神格) について
の日1日の善い
内容でしたが、
す。

練習会場にて配布しています。
ご意見、ご質問、ご寄稿ありましたら下記 吉田までお願いします。
ご質問、ご意見は FAX 048-857-5546

OB会事務局 自宅 pilot.fc.24.wataru@jcom.home.ne.jp
22期 吉田 亘 会社 w-yoshida@pilot.co.jp
携帯 maidookini.pilotkansai.wataru@docomo.ne.jp

今週は 28期吉川 千恵子さんによる「ラシーヌ雅歌」教室 です

【1. フランス語テキストと発音 / 日本語音訳 (萩原英彦氏)】	
Verbe égal au Très-Haut, notre unique espérance, ヴェル ^へ ベガーロオー トレオー ノートウルユニック エスペランス	憧 (あこが) れぞ、野辺に香れる
Jour éternel de la terre et des cieux, ジュール ^へ レターナル ドウ ラ テールエツ デ シュー	ゆり白く 咲き染めし
De la paisible nuit nous rompons le silence : ドウ ラ ペズィーブル ニュイ ヌー ゾンポン ル スィラーンス	ゆくえ知れぬ、思い知らず
Divin sauveur, jette sur nous les yeux. ディヴァン ソーヴェーる ジュットウ スュール ヌー レ ^へ ズィュー	陽 (ひ) に染 (そ) む手こそ濡れず
Répands sur nous le feu de ta grâce puissante ; れパン スュール ヌー ル フー ドウ タ グラス プエイッサントウ	聴 (き) かず倦 (う) む日もたらず美 さと -
Que tout l'enfer fuie au son de ta voix ; クウトウ ランフェール フエイ オウ ソン ドウ タ ヴォあ	く つれなく、ことの葉は
Dissipe le sommeil d'une âme languissante ディシップ ル ソメイユ ドュヌ アーム ラングウイサントウ	年経 (ふ) りそよぎ、やすらぎ去りて
Qui la conduit à l'oubli de tes lois! キ ラ コンドユイ ^へ タ ロウブリ ドウ テ ロウ	暮 (く) らし歌、歌いては
Ô Christ ! sois favorable à ce peuple fidèle, オー クリスとう ソウ ファヴォら ^へ ラ ス プーブル フィデール	おりふし折られ、安らぎ秘める
Pour te bénir maintenant assemblé ; プウ トウ ベニーる マントウナン アサンブレ	ゆうべに女 (め) とならざれ、
Reçois les chants qu'il offre à ta gloire immortelle,	

萩原英彦
るどころ
まったも
ですが、
している
ます。

[1] 翻訳は
です。た

ルソウ レ シヤントウ キ(ロッパ)ル ア タ グロウ イむモルテル	薄れ秋暮れ あこがれ、え持てる
Et de tes dons qu'il retourne comblé.	
エ ドウ テ ドン キル ルトゥーるヌ コーンブレ	全ての日嬉しかれ

R (エル) 「らるれ」は軟口蓋周辺を摩擦させる音です。発生する場所から **le r dorsal** (舌背r音)と呼ばれます。要確認。

N/Mでン」のルビ鼻母音ですがどのように発音するかは要確認です。語尾のひらがなは子音なので、音が出るか出ないか位

【2.日本語訳[1]】

神の御言葉[2]はわれらの唯一の望み、
 天と地の永遠の日、平安の夜に、その静けさを断つ我らを、
 神なる救い主、我らを見守りたまえ。
 あなたの大きい恵みの火を我らに注ぎたまえ。
 御声（みこえ）の音の前では全ての悪が逃げ失せるように、
 御教えを忘れさせる萎えた魂の眠気を、晴らしてください。
 おお、キリストよ。今ここに集いあなたをほめたたえる、忠実な私たちに恩寵を授けてください。
 あなたの永遠の栄光を讃美する私たちの歌声を聞き入れてください。あなのご加護で満たされますように。

[2] 主イコ

[3] <http://>

[4] オラ:
<http://ja>

吉川さん

歌うにあたり少し掘り下げてみました】

Dの解説書によれば、1873年にフォーレ28歳で作曲され、其の当時は彼の母校、エコー・ド・イエで教鞭をとっていました。テキストは、フランスの劇作家ジャン・ラシーヌ（1639-1698）がやめた晩年に書いた「Cantiques spirituels（聖なる雅歌）」からとられたとされていると一方、フランスのWikipedia^[1]サイトによれば次のような説明もありました。 フランス（歌詞）は、聖アンブロワーズに捧げられて毎火曜日の朝のミサの始めに歌われた中世聖歌「*Consorts paterni luminis*」を、劇作家であったラシーヌによって、フランス語に翻訳されています。つまり既存する頌歌をフランス語訳したものに、フォーレが1864年わずかなで曲をつけたというものです。同Wikipediaによれば、ラシーヌの歌詞はジャンセニズの影響がみてとられ、ラテン語の原典では触れられている父なる神の神聖（や三位一体のことあまり述べられていないこと、元々の詞では、眠りから覚める朝、活動を始める朝にそ行いを願ひ、罪の誘惑から遠ざけて頂くよう神様の恩寵をお願いする事に重きが置かれたラシーヌのよって、より「罪」や「原罪」に重きがおかれるようになっているようで

以下、参考までにラテン語の原典を引いておきます。（読めませんが。）

【ラテン語原典：一部改訂】

Consorts paterni luminis,	Sic, Christe, nobis omnibus
Lux ipse lucis et dies,	Indulgeas credentibus,
Noctem canendo rumpimus:	Ut prosit exorantibus
Assiste postulantibus.	Quod praecinentes psallimus.

Aufer tenebras mentium,	Sit, Christe, rex piissime,
Fuga catervas daemorum,	Tibi Patrique gloria
Expelle somnolentiam	Cum Spiritu Paraclito
Ne pigritantes obruat.	In sempiterna saecula.

Amen.

【4. フランス語の発音で気をつけたい点】

氏によって、フランス語の音になぞるように日本語の歌詞がつけられたということでした。ところ、（これは絶対しかたないけれど）発音とは違う音の日本語がつけられているので、覚えてしらのを一度リセットする必要があるかと思ひます。1頁目でボードにした箇所は、気づく限り語尾とリエゾンの関係で濁る音と、濁らない音が逆転している箇所、狭い母音と広い母音が逆転する箇所です。鼻母音とエル音については、最終的には指揮者の意向に沿うということ、お願いし

は文責者によりますが、参考にしたのはポリドール株式会社London CD名盤2800- F28L28052の解説書にだし改訂を加えています。

ロス・キリストのこと

[/fr.wikipedia.org/wiki/Wikipédia:Accueil_principal](https://fr.wikipedia.org/wiki/Wikip%C3%A9dia:Accueil_principal)

ランダの神学者コルネリウス・ヤンセンの唱えた当時は異端とされたキリスト教思想。詳細は fr.wikipedia.org/wiki/ジャンセニスム を参照の事。

ありがとうございました。